

## 英語でビジネスプラン競え

# 洛南高 2年連続 世界に挑戦



ビジネスプランを競う国際大会の国内予選に優勝し、日本代表に選ばれた洛南高ESSクラブの生徒たち(京都市南区)

### 京教大付属高も出場

15日はドイツの大会会場とインターネットで世界を結び、北米や欧州、アジア、中東から17カ国39チームが出場する。洛南高はインターネットで、京都教育大付属高の5人は現地で出場する。

(松田ゆい)

## あす大会 「表現工夫し入賞を」

青少年のビジネスプランを問う国際大会の国内予選で、洛南高(京都市南区)ESSクラブの6人が前年度に続いて最優秀賞となり、15日に優秀賞の京都教育大付属高(伏見区)とともに日本代表として出場する。昨年は表現力や工夫で海外の高校生と差を感じたといい、悔しさをほねに再挑戦する。

がさまざまな社会問題の解決をめざす事業プランを競う「グローバル・エンタプライズ・チャレンジ」。2001年から始まり、NPO法人アントレプレナーシップ開発センター(京都市)が日本事務局を務めている。課題は当日に発表され、財政的な裏付けを含めたプランを12時間でまとめる。創造性や高い英語力が要求される大

会だ。国内予選は3月に行われた。世界と地域社会を共に見据える人材を育てる教育システムを提案する課題に、洛南高の生徒たちは各国の中学生がそれぞれの地域の問題を映像にまとめ、映像を交換しながら視点を広げ、意見を出し合うプランを提案、1位となった。昨年も国際大会に出場した